

令和 8 年度事務事業評価の実施について

1. 令和 8 年度事務事業評価

(1) 背景・目的

様々な行政需要の増大に加え、物価上昇等の影響や確実な人員確保が不透明になっている状況を背景に、区の行財政運営は厳しい状況に置かれる可能性がある。

そのような中、持続可能な行財政運営を推進していくため、限られた行政資源を効率的・効果的に活用できるよう事業の検証を行い、適切な業務効率化や見直しなどの改善を図る。

(2) 実施方針

- ①「給付・助成」「イベント・普及啓発」「情報発信」に類型化される事務事業の検証・見直しを行い、業務の改善を図る。
- ②行政手続きのオンライン化や A I の活用など、デジタル技術を活用する視点や B P R の視点で評価を行うことで業務の効率化を図る。
- ③特に区の裁量により実施しており緊急性が低い事業については、行政需要の変化や民間団体の活動の変化等を踏まえ、事業の必要性などを精査する。

(3) 対象事業

「給付・助成」「イベント・普及啓発」「情報発信」に類型化される事務事業
約 3 0 0 事業

※ただし、行政計画事業、令和 8 年度新規事業及び廃止・終了事業は、評価対象外とする。

2. 今後の予定

令和 8 年 7 月	事務局ヒアリング
8 月	評価結果の確定
第 3 回定例会	企画総務委員会（評価結果）
1 0 月	評価結果の公表